



アデーレ
アナ・クリスティー
ソプラノ

ニューヨーク・タイムズ紙に「俊敏で軽やかな声、身体、精神」と称賛され、華やかな歌唱と舞台上の力強い存在感を絶妙に兼ね備えたソプラノとして聴衆を魅了し続けている。今シーズンは、作曲家自身の指揮によるアメリカ響の久石譲《The East Land Symphony》米国初演でカーネギーホールに再登場し、続いて《メサイア》でコロラド響、《子どもと魔法》でフィラデルフィア管（指揮ステファヌ・ドゥナーヴ）、《回転木馬》のジュリー・ジョーダン役でセントラル・シティ・オペラに再登場する。

昨シーズンは、ロバート・カーセン演出《真夏の夜の夢》ティターニアでオペラ・フィラデルフィアに出演し、コロラド響にデビューしたほか、《子どもと魔法》でサンフランシスコ響と再共演した。また、ワシントンの日本大使公邸で行われたコンサートにも出演。このほか最近の出演は、カナディアン・オペラ・カンパニーで《リゴレット》ジルダ、フロリダ・グランド・オペラで《ランメルモールのルチア》タイトルロール、セイジ・オザワ 松本フェスティバルで《ジャンニ・スキッキ》ラウレッタなど。2016年にグラミー賞最優秀オペラ録音を受賞したサイトウ・キネン・フェスティバル松本の小澤征爾指揮《子どもと魔法》にも出演している。

メトロポリタン歌劇場、シカゴ・リリック・オペラ、サンフランシスコ・オペラ、パリ・オペラ座、ロイヤル・オペラ・ハウス、英国ナショナル・オペラ、サンタフェ・オペラ、バイエルン州立歌劇場、ミラノ・スカラ座などで主要役を歌っており、ロサンゼルス・フィル、ボストン響、シカゴ響、イングリッシュ・コンサート、N響をはじめ、米国各地のオーケストラとオペラやコンサート・レパートリーで共演している。